

(様式3)

自己評価結果票

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|---|---|----------------------------------|
| .理念に基づく運営 | | | |
| 1.理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>「尊厳を喪つことなく安養に生きる願いをはくくみ、痛みを和らげ心配や畏れを取りのぞく」という『ビハーラの理念』の実践を掲げている。職員には入職時から説明をし、折々法人代表からの話もある。平成15年に併設施設でISO9001を取得し、ホームもそれに準じた運営を行っており、「ビハーラを実践すること」を盛り込んだ事業目</p> | |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>申送り事『ビハーラの理念』を唱和している。</p> | |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>開設時説明会を開いた。「あそかだより」を市役所等の関係機関に配ったり、併設ディサービスに置いたりしている。地域での作品展にも参加している。地域での掃除・盆踊り等に参加した際や買い物・散歩で地域の方と触れ合う機会にホームの役割や理念等の話をしている。</p> | |
| 2.地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>地域での行事の参加や事業所前の公道の掃除などを行ったり、道行く人に挨拶を行っている。</p> | |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>地域での行事の参加や事業所前の公道の掃除などを行ったり、地域での作品展の出品し、交流に努めている。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 随時開放し、見学者・実習生・研修生の受け入れを実施している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員に対し外部評価を回覧し、グループホーム内でも外部評価の意義を話し合い職員間の意識付けを行い、改善に取り組んでいる。 | | |
| 8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | | | |
| 9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 何かあれば相談に行ったり、担当者からも働きかけがある。 | | |
| 10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 職員研修で成年後見制度について研修を行い、実際に入居者の方で制度を利用されている方がいる。 | | |
| 11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員研修で虐待防止につて研修を行い、虐待が見過ごされないよう注意し、防止に努めている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|------------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--------------------|----------------------------------|
| <p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>行っている。</p> | | |
| <p>5.人材の育成と支援</p> | | | |
| <p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>内外研修に参加し、研修報告を定例会議で行っている。外部研修の場合交通費の援助を行っている。</p> | | |
| <p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>他事業所の勉強会に参加している。</p> | | |
| <p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>職員旅行・歓迎会・送別会・新年会で親睦を図りお互いのストレスを解消している。何かあれば管理者に相談するよう指導している。</p> | | |
| <p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>年2回人事考課を行い、ボーナスに反映している。利用者満足度評価を行い、管理者が個人面談の際指導や励ましを行っている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>入所までの訪問時にできるだけ話を聞いている。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>事前見学時相談や随時の電話相談に応じている。</p> | |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談時にどのような支援が必要か見極めこれからの大まかな介護プランを提案している。</p> | |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入所までに何回か家族と共に訪問してもらい、雰囲気になじんでもらっている。</p> | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は、生活相手であり代理家族であると意識しながら支援を行っている。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 月に2回家族懇談会を設け、普段の生活ぶりを報告し、こちらからの相談や家族からの相談と一緒に考えて利用者を支えていく関係を築いている。 | | |
| 29 利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している | 入所時や家族訪問時などに話を聞き理解に努め、家族が訪問した際にはよりよい関係が築けるよう支援している。 | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 買い物・娯楽目的などの外出はホームで実施しているが、墓参りなどは家族に依頼し協力を得ている。 | | |
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 調理やタオルたたみ等職員が間に入ってレベルの差に配慮しながら共同で作業できる場を作っている。できる人が出来ない人に教える場面も見られる。 | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 今年度本人希望により退所された利用者がいたが同じ施設内のデイを利用しているのでデイ利用中に遊びに来たりしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入所時やそれ以降も日常生活の中での会話から思いや暮らしの希望を吸い上げるよう努力している。</p> | |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>入所前に介護支援専門員から情報を得、家族よりセンター方式の私の暮らし方シート・私の生活史シートを利用し、これまでの生活について把握している。</p> | |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>日常生活での現状を把握するよう努めている。</p> | |
| 2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>定例会議のほか課題が持ち上がった場合日々の申送りで話し合いを持ち介護計画に生かしている。特に重要なことは、申送り簿に記入し、統一したケアが出来るよう心がけている。</p> | |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>定例会議のほか課題が持ち上がった場合日々の申送りで話し合いを持ち介護計画に生かしている。</p> | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|---|--------------------|----------------------------------|
| 38 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>日々の状態を個別ケースに記入している。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>受診の場合で言えば、母体施設の診療所受診の場合職員で対応している。外部病院受診の場合も家族がどうしても同行できない場合職員で対応している。緊急時は救急車に同乗し、家族に引き継いでいる。</p> | | |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | <p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> | <p>ボランティア・介護相談員の訪問等の協力を得ている。</p> | | |
| 41 | <p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> | <p>家族の希望により脳トレーニングを自費ヘルパーを利用し行っていた。</p> | | |
| 42 | <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|----------------------------------|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 母体施設に診療所が併設されており、8名の方が診療所医師が主治医となっている。随時受診できる体制が出来ている。又外部病院が主治医の方もおられ、基本的には家族に受診介助をお願いしている。緊急時は、職員同行の場合もある。 | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 母体施設の診療所に月1回心療内科医師が来られる日があり、状況変化がある場合随時受診を行っている。 | | |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 母体施設の診療所医師より健康管理のため月1度往診に来てもらっている。状態変化時についても随時相談を行っている。 | | |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 在宅管理者・管理者が入院中・退院時に連絡を取り合っている。 | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 基本的に車椅子対応・認知症の行動障害が著しく進行した場合は、母体施設へ異動することになっており、入所時の説明を行っている。 | | |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 行動障害が重度化してきている利用者については、家族に今後の対応について随時相談している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|---|--------------------|----------------------------------|
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>退所前に利用者・家族・介護支援専門員・管理者と充分話し合いを持っている。</p> | | |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>出来る限り、その方のペースを尊重した対応を心がけている。</p> | | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>その方のわかる力に合わせて質問をし、選択して貰っている。</p> | | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>行事やアメニティーに対しては、声掛けを行い参加希望者を募り希望に沿っている。</p> | | |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>1.5ヶ月のペースで訪問美容師を依頼。また希望者は、毛染めに美容院へ行く。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--------------------|----------------------------------|
| 54 | 併設の厨房から副食が配食されるが、盛り付け等は、利用者と一緒にしている。主食と汁は、毎回利用者と一緒に調理している。週1回調理の日を設定し、利用者と一緒にしている。季節に合わせたおやつ作りも一緒にしている。片付けも出来ることを手伝って貰っている。 | | |
| 55 | 希望者なし。 | | |
| 56 | 個人に合った対応を行い、誘導・介助を要する方には随時対応している。各居室にトイレを設置。失禁の場合もさりげなく介助でき、プライバシーを守っている。 | | |
| 57 | 希望であれば毎日入浴可能。拒む人に対しては、時間をずらし誘い、一人一人の意見を尊重し時間を気にせずゆっくり入って頂く。一人ずつの入浴を行いプライバシーは守られている。一連の動きに対し、常に声掛けを行っている。 | | |
| 58 | その時々に応じて、居室で休むよう促したり、就寝前の時間は個々で居室で自由に過ごしたりテールームでTVを見たり、お茶を飲んで過ごす。時間と共に静かな雰囲気を作り入眠を促している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | 一人一人に合った役割作りを行い、外気浴・買い物等により生活の活性化に繋げている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|--|--------------------|----------------------------------|
| 60 | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>自己管理できる方は、各自財布を持っている。外出時・買い物時・自分の好きな物を買う</p> | | |
| 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>母体施設の行事への参加・地域の催し物・盆踊り・喫茶店等へ出かけられるよう支援している。</p> | | |
| 62 | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>年間計画を立て、観梅・紅葉狩り等に家族と共に出かけている。</p> | | |
| 63 | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>個人電話を持っている方もおり、又家族への電話やかかってきた場合も静かな所で話せるよう支援している。</p> | | |
| 64 | <p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> | <p>いつ来ていただいても笑顔で対応し、次の訪問に繋げている。</p> | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>全く拘束は行っていない。母体施設も含め、外部に拘束・抑制のない施設として公言している。</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|----------------------------------|
| 66 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | | |
| 67 | <p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | | |
| 68 | <p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | | |
| 69 | <p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | | |
| 70 | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | | |
| 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|----------------------------------|
| 72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 入所時に重要事項の中で抑制をしないためリスクが発生しやすい状況であるむねを説明している。家族面談時も利用者の状況によっては、リスクが発生しやすくなってきていることを説明している。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎朝体温を測って記録に残している。異変の変化については、気づいた職員がすぐ他の職員と話し合い、家族へ相談すると共に母体施設の併設診療所への受診へ繋げている。 | | |
| 74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用者のケースにお薬の説明書を添付し、夜勤で翌日の薬をセットしており又服薬確認表にサインをしている。 | | |
| 75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分補給時の摂飲の促しや体操・外気浴等により便秘解消に働きかけている。 | | |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 口腔ケアを外部歯科医師より月1回実施している。又毎週土曜日に入れ歯洗浄を実施。各食後利用者に声掛けし、歯磨きを行ってもらう。援助の必要な方は介助・見守りを行う。 | | |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 各自のペースを大切にし、時間を気にせずゆったりとした食事が出るように努めている。特に目配りを要する方は、職員の隣に席を設け実施している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|--------------------|----------------------------------|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症対策手順を作成し、感染症に対する予防や対策を行っている。母体診療所が主治医の方はインフルエンザの予防注射を毎年接種している。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 台所周りの日常的な清掃以外に流しの下・冷蔵庫の掃除など衛生管理の予定表を作成し、行っている。食材は、朝食の分は、前日に買い物に行き在庫が無いようにしている。食事の副食は、そのつど母体施設併設の厨房より配食している。(厨房で管理) | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りに草木・花を植え、家庭的な雰囲気である。木造平屋建てで内部も木造である為家庭らしいぬくもりを感じる。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 随時気配りし、カーテンで調整している。各居室には障子、居間・廊下には窓があり、季節感を感じれるよう外が見える。またレク時・食事中などテレビを消し、集中出来るようにしている。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居間に畳の空間があり、今の季節はこたつを設置しくつろぐ。窓際に椅子とテーブルがあり、日当たりもよく中庭をながめたり出来るようになってる。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|----------------------------------|
| <p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>使い慣れた家具を使用し、写真や自分で作った作品を飾り、なじめる雰囲気作りをしている。</p> | | |
| <p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | <p>起床後は窓を開け換気し、入眠前・起床時は暖房が、入るようエアコンのタイマーを入れて温度調節している。</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| <p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>要所要所に手すりを設置、家の中は段差のないオールフラットでバリアフリー構造である。</p> | | |
| <p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | <p>少人数ケアなので目配りが行き届いている。和室造りが精神的に落ち着くようである。</p> | | |
| <p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p> | <p>中庭には植物や畑があり、秋には芋掘りを楽しんだ。今の季節は畑で収穫した野菜を食事の一品に加えたりして喜んでもらっている。外回りにも季節の草花があり、庭掃除の際には花を観賞している。</p> | | |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| . サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と) |
|-----------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)